



Press Information

VPR06-035

2006年8月10日(木)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン グループ ジャパン、環境 ISO14001 の適用範囲を全社に拡大

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市)は、6月13日~15日の間、国際的第三者認証機関 ビービーキューアイジャパン株式会社(略称:BVQI、代表取締役:佐々木泰介 本社横浜)による ISO14001(環境 ISO)の審査を受け、認証の適応範囲を全社に拡大して、6月27日に ISO14001 認証を更新しました。

VGJ はフォルクスワーゲン グループの一員として、ドイツにあるフォルクスワーゲン AG 本社が 1995 年に企業の持続可能な発展に向けて制定した「環境方針」に基づき、環境保全活動を行ってまいりました。その結果、2000年7月には愛知県豊橋市にある日本の輸入車業界において最大規模となる車両整備センター(VPC)で ISO14001 を取得。さらに今回(3年毎の更新)2回目の ISO14001 認証の更新審査を受けるにあたり、中央部品倉庫(CPD)・トレーニングセンター・本社オフィスビル及び、東京オフィスなどを含む会社全体に適応範囲を拡大して、ISO14001 認証を更新しました。

VGJ の品質・環境管理責任者は環境 ISO14001 の適用範囲の拡大について次のように述べています。「VGJ は、1997年に品質 ISO の ISO9001 を取得し、翌年から全国の正規ディーラーにも順次展開してきました。今回の ISO14001 適用範囲の拡大を受けるにあたり、日本の輸入車業界の中で No.1 の品質・環境マネジメントシステムを維持・活用し、更なるプロセス改善によってお客様満足度の向上と環境保全を目指します。」

VGJ の環境保全活動の中心になったのは、2000年に ISO14001 を取得した車両整備センター(VPC)でした。ISO の推進部門が VPC での経験を基に、環境重点4部門(VPC、CPD、サービス技術部門、本社総務部門)にその活動範囲を拡大。各部門の環境管理責任者とともに全社への環境 ISO の導入に大きな役割を果たしました。事務部門では文書の電子化や廃棄物の適正処理、物流の最適化の実施により環境保全に全社を挙げて取り組んでいます。また、全社へ環境保全活動を浸透させるのに月2回、社員向け「ISO ニュース」を発行しています。ここでは最新の活動状況を取り上げ、VGJ のグループバリューを向上させる方策の一貫として、ISO14001 の導入が環境以外にも CSR 活動全体の強化につながる事が判り易く説明されています。

※ ISO14001 とは、企業活動、製品及びサービスの環境負荷の低減といった環境パフォーマンスの改善を継続的に実施するシステム【環境マネジメントシステム (EMS: Environmental Management System)】を構築するために要求される規格です。具体的には、まず組織の最高経営層が環境方針を立て、その実現のために計画(Plan)し、それを実施及び運用(Do)して、その結果を点検及び是正(Check)します。もしも不具合などがあった場合には、それらを見直し(Act)て、再度、計画を立てるというシステム(PDCA サイクル)を構築し、このシステムを継続的に実施することで、環境負荷の低減や事故の未然防止が行われます。